

「平和を守れ、くらしを守れ」の演説原稿例

2022年5月23 埼玉県委員会

みなさん、こちらは日本共産党・梅村さえご事務所です。来月7月10日投票の参議院選挙にむけて、政策をお話させていただきます。よろしく願います。今度の選挙は「戦争か平和か」が係った大事な選挙です。日本共産党は創立百年。「自由と平和。まっすぐ、つらぬく」党として奮闘します。

ロシアによるウクライナ侵略が始まって3カ月。たくさん尊い命が奪われ、本当に許せません。

一日も早く戦争を終わらせるために、力を合わせましょう。「ロシアは侵略をやめよ。国連憲章を守れ」この一点で世界中が力を合わせましょう。この問題で「ロシアは共産党ではないのか」とおっしゃる方もいますがとんでもない誤解です。先日、日本共産党の志位委員長がロシア政府から入国禁止の対象にされたようにロシアと日本共産党はまったく違います。むしろ、旧ソ連の頃から、他国への軍事侵略をきびしく批判してきたのが日本共産党です。

「日本が攻められたらどうする」と不安が広がっています。自民党や維新の会は、憲法9条に自衛隊を書き込む、軍事力を2倍にする、敵基地を先制攻撃する などと言っています。しかし、軍事に軍事、核兵器に核兵器では、悪循環を招くだけではないでしょうか。軍事費を2倍の11兆円に増やしたら、消費税増税か福祉が削られるのです。こんな政治は今度の選挙ではつきりと「ノーの審判」を下しましょう。岸田政権は外交戦略が一つもなくアメリカや核兵器に守ってもらおう発想です。

日本共産党は憲法9条を活かした平和外交で東アジアに平和をと考えます。フィリピンやインドネシアなどアセアン10カ国は、毎日のように話し合い、お互いの信頼関係を築いています。日本を「戦争する国」にしないために、今度の参院選で日本共産党を大きく伸ばしてください。

みなさん、ロシアが核兵器の使用をほめかす中で、維新の会は「核共有」などと物騒なことを言っています。しかし、ヒロシマ、ナガサキの原爆から、核兵器がいかに残酷な兵器かを多くの国民が知っています。核兵器は「抑止力」ではなく、持っていれば使いたくなるのです。唯一の被爆国であるのに、日本は核兵器の禁止条例の調印を拒否しています。こんな政治も変えましょう。日本共産党は反戦平和を貫いて100年の政党です。憲法9条を活かし「核兵器のない世界」をつくりだすために引き続き頑張ります。

みなさん、くらしはいかがでしょうか。いま、食材やガス代など物価高で家計はますます火の車です。賃金は上がらず、年金はさがる一方なのに、高すぎる物価や教育費。この賃上げラッシュの原因は、ウクライナ危機だけではなく、アベノミクスで異常円安を作り出した政治の責任です。日本共産党は、物価高から暮らしを守る5つの提案をしました。

まず消費税を5%に緊急減税を直ちに行ないます。2つ目はアベノミクスで130兆円も増えた内部留保に課税して、最低賃金を1500円に引き上げます。非正規雇用の待遇改善と大幅賃上げを求めます。3つ目は、年金削減をストップ、世界高い大学学費を半分に。給食費無料になど、経済大国に相応しく社会保障や教育に予算を使います。4つ目は男女の賃金格差を無くす。5つ目は、原発ゼロ、太陽光や水力など国産の再生エネルギーを普及しエネルギー自給率を高めます。

みなさん。財界ばかり応援して「貧困と格差」を広げる政治から、「給料が上がる国」「働く人が大切にされる国」「子育ても老後も安心な国」に変えようはありませんか。財界からの献金ゼロ、大企業にズバリものが言える日本共産党を大きく伸ばして下さい

参院選では、平和の問題でも、くらしと経済の問題でも、岸田政権と正面から対決をして、対案をかかげている日本共産党が伸びるかどうかが決定的に重要です。日本共産党の躍進は、希望ある政治をつくるための大きな力となります。ぜひみなさんのご支援をお願いします。

最後になりますが、日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」は真実を伝え、明日への希望のわく新聞です。ぜひお読み下さい。これで梅村さえご事務所からの訴えを終わらせていただきます。ありがとうございました。